

◆ 第3分科会【指導育成】研究・研修 ◆



ミドルリーダー層の人材育成を目指した 継続可能な研修体制の構築

小 関 英 嗣 (上市市立中川小学校)

1 はじめに

教職員の高齢化に伴う世代交代が進む中、次世代を担う人材の育成は全国的な喫緊の課題である。

本市においても、教諭の年齢構成について、経験年数21年目以上が45%を占め、次世代を受け継ぐ11年から20年目の層が13%と薄く、偏りが大きい。さらに、アンケートの結果、ミドルリーダー層の「学校経営参画意識」や良い組織作りに貢献する「チーム運営力」の意識が、他年齢層に比べ著しく低い結果が判明するなど、この層への対策が急務である。

そこで、校長会として、次世代を担うミドルリーダー層の人材育成のため本主題を設定し研究に取り組んだ。

2 研究の概要

(1) 研究のねらい

ミドルリーダー層の「学校経営参画意識」や「チーム運営力」の向上を図り、校長会、市教委、各学校と連携した継続的な研修体制を構築する。

(2) 研究の方法

- ① 研究の概要と方向性の協議。
- ② 市内小学校教員へのアンケート実施と分析。
- ③ 校長会主催事業、市教委との連携事業、各学校のOJTの実践。
- ④ 成果と課題の吟味と研修体制の検討。
- ⑤ 研究のまとめと提言。

3 研究の内容

- (1) 市内小学校全教員(教諭)に「指標」を基に作成したアンケートを実施し、現状の把握と事後の変容を見取る。
- (2) アンケートは、経験年数により3年目までを「始発時」、10年目までを「成長期」、20年目までを「充実期」、それ以上を「組織運営期」の4ステージに分類した。特にミドルリーダー層の成長期、充実期の変容について成果

と課題を検証する。

(3) 具体的な取組

- ① 校長会の実践。
ミドルリーダー層に特化した研修会の実施
 - ・1回目 ミドルリーダー等研修(教育法規)
 - ・2回目 中堅教員等研修(教育長講話)
- ② 市教委教育研究所委員会との連携。
- ③ 実態に応じた各学校のOJTの実践。
- (4) これからの研修体制の検討。

4 成果(○)と課題(●)

- アンケートの分析より、全年齢層の全体到達度は52.4%で、事前より+7.5%向上した。中でも成長期が+7.5%、充実期が+13.5%と他年齢層より向上した。
- 「学校経営参画意識」の変容について、成長期が68.8%で±0、充実期が50%で+20%向上した。「チーム運営力」の変容について、成長期が68.8%で+25%、充実期は質問3項目の上昇平均が+19.1%と向上した。
- 各学校における教職員面談等でアンケート結果を活用することで、明確な助言ができた。
- 校長会として市内教職員に係る情報を共有し、連携しながら育成を図る。

5 提言

継続可能な研修体制の構築に向けて、今働き方改革や新しい生活様式を踏まえた、効果的・効率的な研修、OJT等の在り方が問われている。

- (1) これまでの研修等の取組を精査し「ねらい」や「対象者」を焦点化して事業の精選を図ることが重要である。
- (2) 校長会と教育長がコミュニケーションを密にし、校長会と教育委員会とが一貫した課題の共有が重要である。
- (3) 効果的なOJTのために、双方に有益な関係性を保つことが重要である。
(win-winの関係)